

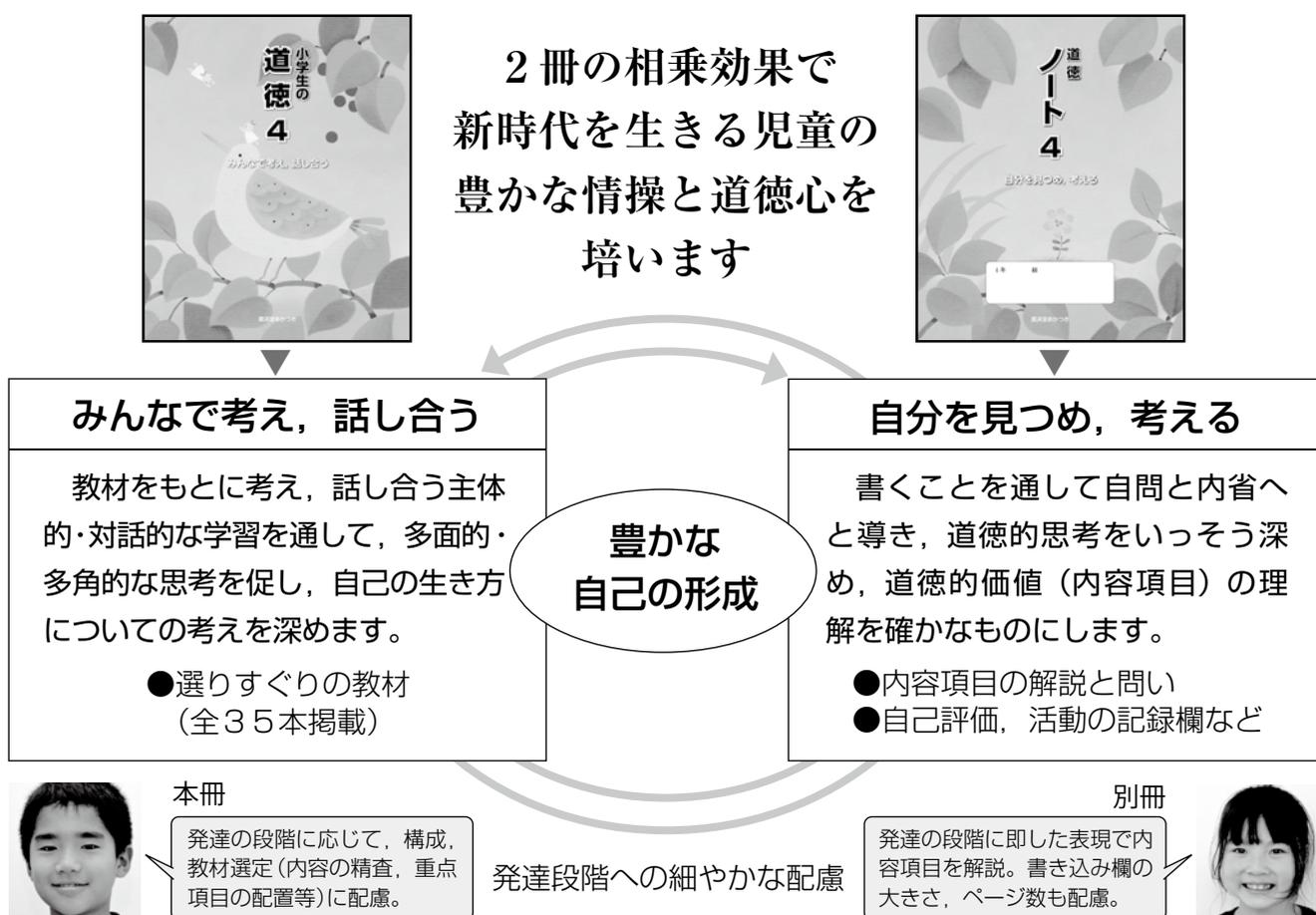
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-49	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 410 道徳 411	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4 自分を見つめ、考える 道徳ノート4		

1 編修の基本方針

教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



ノート別冊には、理由があります

- 児童の学習状況や授業の進め方に応じて、活用のタイミングを図れます。
 - ▶授業の事前・事後、導入・終末、その他(学校行事など児童の体験や各教科との関連等)の機会に応じて、弾力的な活用が可能です。
- 提出が容易で、児童の心の成長が見えます。
 - ▶別冊ゆえに提出が容易で、随時、児童の学習状況を教師が確認できます。記述からは、児童の心の状態や成長が見て取れ、その後の指導や評価に生かすことができます。

○一冊がまるごと児童の「心の記録」になります。

▶教科書使用終了後も、ノートはその学年の心の記録として各自で保管します。自己を振り返って、自分の考えを比較したり成長を実感できるものとして、次学年以降も折に触れて活用することができます。



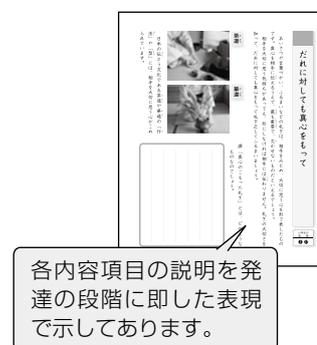
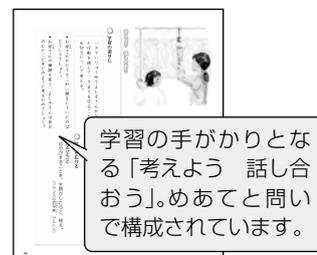
————— 活用性・管理性・保存性・記録性に優れた別冊方式

(1) 豊かな情操と道徳心とを培う本冊と「道徳ノート」(第1号)

本冊では、各教材ごとに学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」を配置し、児童の主体的な思考、積極的な話し合いを促す構成としました。みんなで考え、話し合う協働的な学習により、児童は、他者の多様な感じ方や考え方に触れることができ、多面的・多角的なものの見方や考え方へとつながる新たな視点を得ることができます。

また、道徳ノートは、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化しました。児童は、教師の指示に沿って授業の事前・事後、あるいは授業の導入・終末などに別冊ノートを活用することにより、道徳的諸価値への理解が深まり、効果的にねらいに迫ることができます。

児童の学習状況や体験や各教科との関連、教師がイメージする授業の進め方や展開等に応じ、2冊を柔軟に活用することで、豊かな情操と道徳心を培うことができる教科書です。



(2) 発達の段階に即した、魅力あふれる35時間分の教材があります(第1~5号)

インターネットを使用して、関わりのある情報を活用することができる教材には、**インターネット**のマークを記載しています。



すべての学年において、年間の配当時数分の教材を掲載しました(第4学年35教材)。各学年の発達の段階を考慮した、児童が興味をもって「学びたくなる」選りすぐりの教材群から、自主自律、責任、正義、勤労、生命や自然環境、伝統文化、国際平和などの大切さ、素晴らしさを楽しく学ぶことができます。

問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しています。

(3) 命の教育を重視します(第4号)

本教科書は、特に「生命尊重」に重点をおき、編修しました。内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当しています。

また、第4学年では、命の教育の一環として、防犯、防災に関する特集「きけんから自分自身を守るために」を設けています。

2 対照表

本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
詩／空より高く	小学校第4学年は著しく心身が発達し、その個人差も顕著になる時期と考え、自らの成長を実感するとともに、困難があったとしてもそれを乗り越えていこうとする前向きな気持ちを引き出す詩を掲載しました。【第2号】	前見返し表	
道徳の時間はこんな時間	第4学年における道徳の時間のオリエンテーションとして利用できます。道徳の時間は、自分の心の成長を応援する機会であると捉え、自分で考えたり、友達と話し合ったりしながら道徳的思考を深め、道徳心を培い、情操を豊かにし、自分の成長につなげるという自覚を深めます。【第1号】	p.1～3	
道徳ノート	「今の自分を見つめて」の書き込み欄があります。【第1号】	巻頭	
自分自身に関すること	正しいことは 自信をもって 本冊教材番号 ④ ②② ②③	「④おたまじゃくしの世話」「②②げんたの消しごむ」では、正しいと判断したことは自信をもって行う気持ちを引き出します。「②③正しいことは勇気をもって」でははじめにも触れ、多面的・多角的な思考を通し、正義と平等を重んじる態度と自主自律の精神を養います。【第2・3号】	④ p.14～17 ②② p.76～79 ②③ p.80～81
	道徳ノート	正しいことを行動に移せないケースを考え、自律性を高めます。【第2号】	p.1
	正直に明るい心で 本冊教材番号 ①① ③①	同世代の主人公が登場する「①①正直 五十円分」「③①新次のしょうぎ」の2編を通して、正直であることが明るい生活を送るために大切であることを考えます。【第1号】	①① p.38～42 ③① p.102～105
	道徳ノート	うそをついた時の思いを問い、正直であることの意味を考えます。【第1号】	p.2
	よく考えて 節度ある生活を 本冊教材番号 ① ①④	「①目覚まし時計」では健やかな身体を養う規則正しい生活習慣について考えます。「①④少しだけなら」では情報モラルに関連した題材を通し、節度ある生活の大切さへの気づきを促し、自主自律の精神を養います。【第1・2号】	① p.4～6 ①④ p.50～52
	道徳ノート	生活の中で自主的に行っている事柄のチェック欄を設けました。【第1・2号】	p.3
	自分のよいところをのぼして 本冊教材番号 ③④	「③④明の長所」では、自己肯定感を育み、自他の価値を尊重する心を養い、その能力を伸ばす意欲を培います。【第2号】	③④ p.119～121
	道徳ノート	自分の特徴の記述を通して、自己の価値を尊重する意識を高めます。【第2号】	p.4
	やろうと決めたことは 最後まで 本冊教材番号 ⑧ ①③	星野富弘さんのくじけぬ心に学ぶ「⑧文字を書くよるこび」、夢を叶える生き方を描く「①③ゆめはみるものではなく、かなえるもの 一澤 穂希」の2編の人物を扱った教材から、強い意志に裏付けられた努力を感じ取ります。【第2号】	⑧ p.28～31 ①③ p.46～49
	道徳ノート	物事をやり抜くための「秘訣」を示し、実践意欲を引き出します。【第2号】	p.5
人との関わりに関すること	相手を思いやり親切に 本冊教材番号 ⑨ ⑩ ①⑨	「⑨心と心のあく手」は「  思いやりのむずかしさ」と併せて扱い、思いやりを多面的・多角的に考えられるよう、構成を工夫しました。「⑩真心を伝えるコミュニケーション」では、言葉の伝わり方の違いを体験的に学習し、「①⑨一まいの写真から」では児童の興味を引く写真を契機として、いずれも自他への敬愛の念を深め、公共の精神を養います。【第3号】	⑨ p.32～34  p.35 ⑩ p.36～37 ①⑨ p.65～67
	道徳ノート	親切な行為にこめられた思いについて、考えを深めます。【第3号】	p.7
	そんけいと感しゃの 気持ちをもって 本冊教材番号 ①⑦	まどみちおさんの詩を中心に構成した「①⑦朝がくると」では、自分たちの生活が知らない人たちによって支えられていることを再認識し、児童の感謝の念を引き出すと同時に、勤労の価値にも気づきを促します。【第2・3号】	①⑦ p.60～61
	道徳ノート	社会を築いてきた高齢者に勤労観をたずねる活動を設けました。【第2・3号】	p.8
	だれに対しても 真心をもって 本冊教材番号 ② ②⑦	「②言葉のまほう」で言葉や態度の違いを通して、社会における礼儀の果たす意味について考えます。「②⑦フィンガーボール」では礼儀の本質について理解を深め、その根底にある他者への敬愛の念への気づきを促します。【第3号】	② p.7～9 ②⑦ p.92～93
道徳ノート	日本文化の作法や型に込められた相手を思う心を考えます。【第3・5号】	p.9	
友達とたがいに 理解し合って 本冊教材番号 ①⑤ ②①	「①⑤同じ仲間だから」では友人と平等意識をもって関わることの大切さを考え、「②①絵葉書と切手」では友人関係に関する問題解決的な学習を通して、友達と敬愛の念をもって関わる心情を育みます。【第3号】	①⑤ p.53～57 ②① p.72～75	
道徳ノート	「本当の友達とは」という問いから、友人について自問内省を促します。【第3号】	p.10	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所	
集団や社会との関わりに関する	相手を理解し、 ことなる意見も大切に 本冊教材番号 ③① 道徳ノート	「③すれちがい」では、異なる視点でのものの見方による対立を問題解決的な学習を通して考え、他者と協力していく上で重要な相互理解の意味と大切さについて気づきを促します。【第3号】 手がかりをもとに、相互理解に基づく望ましい人間関係を考えます。【第3号】	③① p.106～109 p.11	
	社会のきまりを守って 本冊教材番号 ⑥ ⑫ ⑫ ⑫ 道徳ノート	公共物や公共の場所について扱った「⑥もどらない本」、「⑫雨のバスでいりゆう所」の2編を通して、社会生活におけるきまりの意義について考えます。「⑫時計係」では、主人公の葛藤を共感的に捉える問題解決的な学習を通して、社会の形成者として規則を尊重する態度を養います。【第3号】 約束やきまりの意義を知的な理解度に即して説明しています。【第3号】	⑥ p.22～24 ⑫ p.43～45 ⑫ p.85～87 p.13	
	分けへだてをせず、 同じように 本冊教材番号 ⑫⑥ 道徳ノート	伝記「⑫わたしにはゆめがある —マーティン・ルーサー・キング・ジュニア—」では、人種差別という社会的課題を知識として身につけるとともに、平等の意味を考え、国際的な課題に目を向けます。【第3・5号】 いじめや差別に対して、決断的に取り組む書き込み欄を設けました。【第3号】	⑫⑥ p.88～91 p.14	
	働くことの 大切さを知って 本冊教材番号 ⑫⑥ 道徳ノート	「⑫わり切れない気持ち」は主人公の釈然としない気持ちを通して、仕事の本質について多様に考え、児童ができる範囲の身近な仕事を思い浮かべながら勤労を重んずる態度を育てます。【第2号】 働いたときの充実感について考える書き込み欄を設けました。【第2号】	⑫⑥ p.58～59 p.15	
	家族みんなで 協力し合って 本冊教材番号 ⑫④ ⑫④ 道徳ノート	伝記「⑫妙見山のちかい —岩崎 弥太郎—」では家族が自分を支えてくれるかけがえのない存在であることへの気づきを促し、漫画「ドラえもん」を題材とした「⑫ぼくの生まれた日」では誕生時の自分に対する家族の思いに触れることを通し、家族に対する敬愛の念を深めます。【第3・4号】 長友佑都選手の母への思いから、家族の協力について考えます。【第3号】	⑫④ p.82～84 ⑫④ p.97～101 p.16	
	協力し合って 楽しい学校、学級を 本冊教材番号 ⑫③ 道徳ノート	「⑫みんな、待っているよ」では、院内学級に通うことになった主人公の体験を通して、自己と学級や学校との関わりについて考え、協力して集団や社会を形成していく一員としての自覚を高めます。【第3号】 楽しい学校について考え、学校生活を充実させる意識を高めます。【第3号】	⑫③ p.10～13 p.17	
	国やきょう土を 愛する心をもって 本冊教材番号 ⑫③② ⑫③⑤ 道徳ノート	東日本大震災で被災した羽生結弦選手が逆境を乗り越え、金メダルを獲得するまでを描いた「⑫ふるさとにとどけ、希望の舞 —羽生 結弦—」では郷土愛について共感的に考え、我が国の伝統文化を写真で確認する「⑫日本の伝とう文化」では、国の文化に対する理解を深めます。【第5号】 国や地域の自慢できることを考え、郷土について見直す契機とします。【第5号】	⑫③② p.110～113 ⑫③⑤ p.122～125 p.18	
	他国の人々や 文化に親しんで 本冊教材番号 ⑫②① 道徳ノート	となりに引越してきた中国の人と主人公の交流を描いた「⑫李さんのおひさまスープ」を通して、外国の人との交流や異文化の理解について考え、他国を尊重することの大切さについて気づきを促します。【第5号】 他国の文化や人々との関わりに関する書き込み欄を設けました。【第5号】	⑫②① p.68～71 p.19	
	生命や自然などとの関わりに関する	命あるものを大切に 本冊教材番号 ⑫⑦ ⑫⑧ ⑫②③ 道徳ノート	「⑫お母さん泣かないで」、「⑫ヒキガエルとロバ」、「⑫人間愛の金メダル」の3編の異なるタイプの教材を掲載しました。かけがえのない生命について、様々な視点から捉える機会を設け、道徳的思考を深めます。【第4号】 生命の尊さについて家の人とともに考える活動を設けました。【第4号】	⑫⑦ p.25～27 ⑫⑧ p.62～64 ⑫②③ p.94～96 p.21
		自然や動植物を大切に 本冊教材番号 ⑫⑤ 道徳ノート	特定外来生物を題材に現代的な課題を扱った「⑫ごめんね、オオキンケイギク」は、新たな知見を広げることができるとともに、人間と自然との関わり方を多面的・多角的に考えることのできる教材です。【第1・4号】 ウミガメ誕生の瞬間の写真から、自然愛護への意識を高めます。【第4号】	⑫⑤ p.18～21 p.22
美しいものに感動して 本冊教材番号 ⑫③③ 道徳ノート		「⑫花さき山」では、優しいことをすると咲く花があると信じる主人公の心の美しさを感じ取り、豊かな情操を養い、道徳心を培います。【第1号】 自身の感動した体験を想起させ、豊かな情操を育みます。【第1号】	⑫③③ p.114～118 p.23	
きけんから自分自身を守るために	第4学年の活動範囲の広まりを踏まえて、身の回りの危険について再考を促し、命を守るという重要な心構えを確認します。本項では防犯と防災の観点から、改めて危険回避のために、自分自身の判断を確かなものとして、実践力を高めようという意欲を引き出します。【第1・3・4号】	p.126～127		

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
だれもが住みよい社会に	「バリアフリー」を題材に、社会のあり方について考える特集です。人と人とが互いに助け合い、支え合いながらともに生きる社会について考え、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養います。【第1・3号】	p.128～129
考えよう インターネットの世界	インターネットの使用頻度が増え、活用の範囲も広がるにしたがって、その重要性が増す情報モラルに関する特集です。インターネット上でのトラブルを回避するために、自律的な判断や相手のことを考えたコミュニケーションのあり方、利用時に伴う責任などについて、道徳的思考を促します。【第2・3号】	p.130～131

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) ワイドで見やすい AB 判

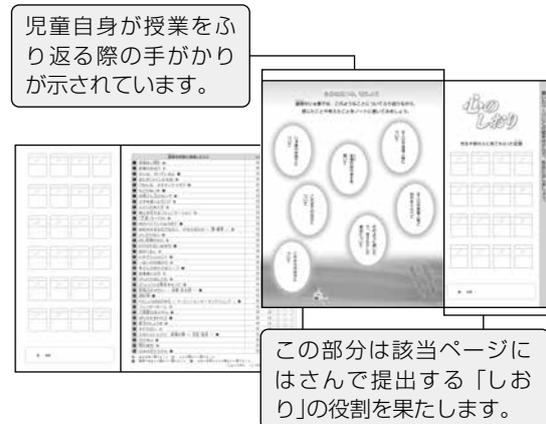
判型は本冊，別冊ともに AB 判を採用し，紙面にゆとりをもたせ，圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ，読みやすさを重視して白を基調とした紙面に，発達の段階に応じて文字の大きさや分量，イラスト配置を工夫し，ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。

(2) 表記・構成上の工夫

- ①道徳科の教材は，児童の読み取りに差異が生じないことが前提と考え，だれもが内容を正確に理解できるよう，当該学年の配当漢字を含む未習の漢字については，ページ初出のみならず，すべてにルビ（ふりがな）を配しました。
- ②別冊の授業の記録欄を巻末に整理・統合することで，大きくりなまとまりで児童の学習が見取りやすくなるよう配慮しました。

(3) 利便性の高い「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして，学習の自己評価やふり返りとなり，教師や家の人の確認の履歴にもなる「心のしおり」を用意しています。今次改訂では，児童の発達の段階に応じた表現で，児童自身が授業をふり返る際の手がかりにすることができる文言を掲載しました。



(4) 用紙選定，印刷上の配慮

- ①環境への配慮から本冊，別冊ともに印刷には植物油インキを使用し，本冊は，発色のよさ，見やすさを重視した再生紙を，別冊は，鉛筆での書きやすさ，消しやすさを重視した再生紙を使用しました。
- ②別冊は授業の記録欄を巻末に整理・統合することでページ数の削減を図るとともに，用紙をより軽いものに変更することで，以前より二割ほどの軽量化を実現し，児童の持ち運びの際の負担軽減に努めました。

(6) 特別支援教育，ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう，色の識別のみによらず，文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお，カラーユニバーサルデザインは，専門の第三者機関に検証を依頼し，CUD 認証マークの取得を予定しています。

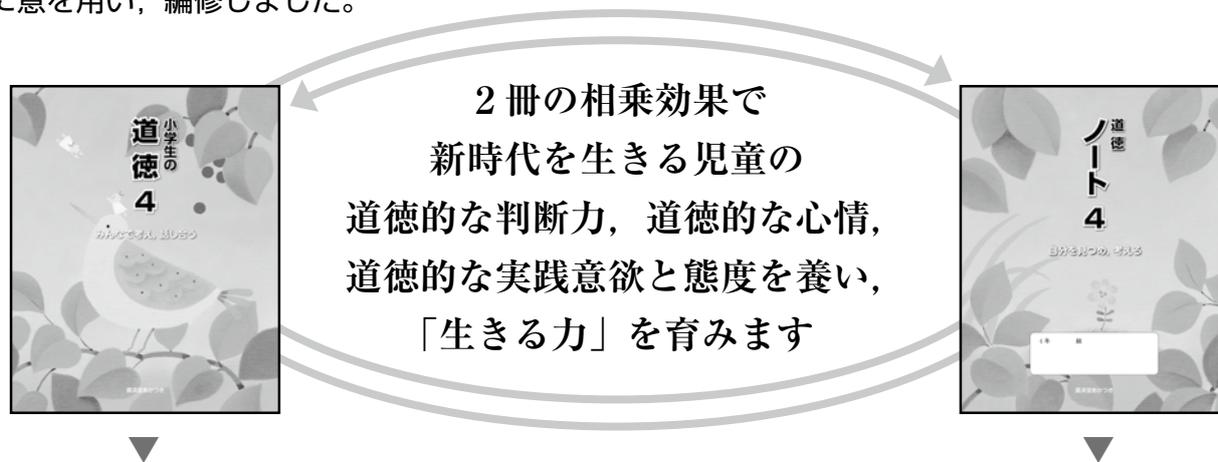
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-49	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 410 道徳 411	みんなで考え, 話し合う 小学生の道徳4 自分を見つめ, 考える 道徳ノート4		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示される教育の方針, 道徳科の目標を達成するため, 本教科書は以下の点に特に意を用い, 編修しました。



本冊 小学生の道徳4

【内容】

- 発達の段階に応じた選りすぐりの教材
- 教材別「考えよう 話し合おう」
 - ・教材をもとに考える問い
 - ・自己に照らして考える問い
- その他 (特集, 詩, 内容項目一覧など)

【特色】 みんなで考え, 話し合う

教材をもとに考え, 話し合う主体的・対話的な学習を通して, 多面的・多角的な思考を促し, 自己の生き方についての考えを深めます。

【主な言語活動】 読む, 話す, 聞く

別冊 道徳ノート4

【内容】

- 内容項目 (道徳的諸価値) の解説
- 内容項目に準じた問い
- 授業で活用できる書き込み欄
- 心のしおり (自己評価, 提出記録など)
- その他 (特集, 活動の記録欄など)

【特色】 自分を見つめ, 考える

書くことを通して自問と内省へと導き, 道徳的思考をいっそう深め, 道徳的諸価値 (内容項目) の理解を確かなものにします。

【主な言語活動】 読む, 書く

授業の事前・事後, 導入・終末など, 児童の学習状況や教材のタイプ, 教師がイメージする授業の進め方, 展開等に応じて, 適切な機会に別冊を活用することで, 児童の道徳的諸価値の理解や道徳的思考の深まりをより効果的に促すことができます。

本冊の特色

みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4

(1) 魅力あふれる多様な教材 (全35本)

名作から新しい作品まで幅広く掲載し、現代的な課題を含むものや問題解決的、体験的な学習活動を促すものまで、多様な教材を取りそろえました。

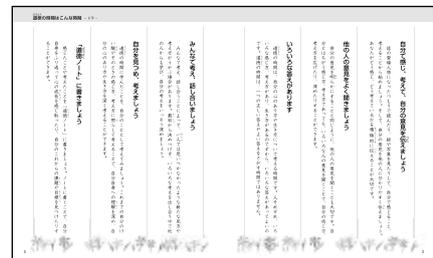
第四学年	教材の題材	該当する教材番号	教材の性質	該当する教材番号
	生命の尊厳	7, 8, 18, 28, 29	問題解決的な学習を促す	1, 2, 4, 6, 9, 10, 12, 14, 15, 16, 21, 22, 23, 25, 30, 31
	自然	5, 18, 33	道徳的行為に関する体験的な学習を促す	2, 5, 6, 9, 10, 11, 12, 14, 15, 21, 22, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 34, 35
	伝統と文化	35	第3学年以降は、教材と関連し学びを深める特集（  で示すページ）を設けました。また、巻末には、現代的な課題に関わる「命を守ること」、「ともに生きる社会」、「情報モラル」について考えるページを特設しました。折に触れて、各教材と併用することができます。	
	先人の伝記	24, 26		
	スポーツ	13, 28, 32		
	情報化への対応 (情報モラル)	14		
その他の現代的な課題	食育=1, 20, 35 / 健康教育=1 / 消費者教育=21 / 防災教育=32 / 福祉に関する教育=8 / 法教育=5 / 社会参画に関する教育=5, 16, 19 / 国際理解教育=20, 26, 28 / キャリア教育=16, 17 / 社会の持続可能な発展=5, 26 / 人権・いじめに関する教育=15, 22, 23, 26			

(2) 発達の段階に応じた、重点項目と教材配置の工夫

学年の重点項目には、最大時間数（年間3時間）を配当し、より重点的に学べるよう一部は2時間連続で配置しています。

第四学年	重点項目		該当する教材番号
	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	4, 22, 23
	B	親切, 思いやり	9, 10, 19
	C	規則の尊重	6, 12, 25
	D	生命の尊さ	7, 18, 28

* 9, 10 / 22, 23は2時間連続配置



●道徳の時間はこんな時間

道徳の時間の学習について、発達の段階に応じた表現で解説しています。授業開き(オリエンテーション)に活用できます。

(3) 児童の主体的な学習を促す「考えよう 話し合おう」

児童が学習の見通しをもって自ら課題意識や問題追求への意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう、教材ごとに学びの手がかりとなる「考えよう 話し合おう」を設けました。

低学年においては、発達の段階を考慮し、教材をもとに考える問いや自己に照らして考える問い（各教材につき2問）を掲載することにとどめていましたが、第3学年以降は、それらの問いに加えて、学習のめあてを示すことで、見



●考えよう 話し合おう

めあてと発問によって「学習の道すじ」を示し、児童の主体的な学習と道徳的思考を促します。

●教材に応じて教師の指導に役立つ、児童が興味をもつ学びのヒントを示しました。

童をより具体的な道徳的思考へと導くための工夫をしました。児童は、めあてと問いによって、おおまかな「学習の道すじ」を把握することができます。

また、いくつかの教材には、「学習を広げる」と題し、教材に関係した知識理解や道徳的諸価値のさらなる深まりを促す内容（人物や本の紹介、格言など）、主体的・対話的な学習を促す内容（役割演技、調べ学習など）を掲載しています。

別冊の特色 自分を見つめ、考える 道徳ノート4

(1) 道徳的諸価値（内容項目）の確かな理解を促す解説

道徳ノートは、それぞれの内容項目（道徳的価値）についての解説を掲載しています。児童の発達の段階に応じて表現を工夫し、端的に分かりやすく示しました。この解説を読むことで、児童は学ぶべき道徳的諸価値の理解を確かなものに行うことができます。

どのタイミングで扱うかは、教師の判断にゆだねられます。児童の実態や教材のタイプ、教師がイメージする授業展開等により、いかようにも活用できることが、内容項目の解説を読み物等の教材とは別の冊子に掲載した大きな理由であり、利点であると考えています。

(2) 自問と内省へと導き、道徳的思考を深める問い

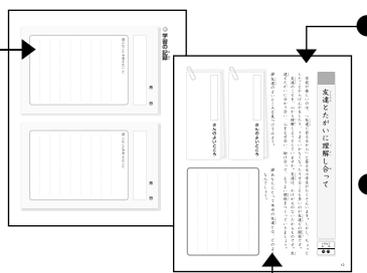
内容項目ごとに、その道徳的諸価値に準じた問いを掲載しています。この問いと向き合うことで、児童は、道徳的諸価値についての理解をもとに自分を見つめ、自己の生き方についての考えをより深めることができます。

(3) 記入したことのすべてが、児童の「心の記録」となる

道徳ノートへの記入内容は、そのすべてが児童の「心の記録」となります。児童は、折に触れて過去の記述を読み返したり、巻末の「心のしおり」を利用して自己評価したりすることで、自らをふり返って成長を実感したり、課題や目標を見出すことができます。また、巻末にまとめられた児童の授業時の記録や感想は、大きくくりなまとまりを踏まえて児童の学びを見取る際の手がかりとなります。

授業で活用できる
ノート欄

教師の指示で、記載内容を決めるなど、弾力的な活用が可能です。全35時間の授業の記録ができるよう書き込み欄を用意しています。

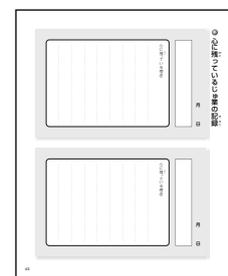


●内容項目の解説

発達の段階に応じた言葉で分かりやすく示し、道徳的諸価値の理解を確実にします。

●内容項目に準じた問い

道徳的諸価値の理解をもとに、自分を見つめ、道徳的思考をいっそう深めます。



●別冊ノート 記録欄

(4) 家庭や地域との連携を促す工夫

周りの人と関わりをもたせる問いを取り入れることで、道徳教育における家庭や地域との連携を促しました。また、教師のみならず、家の人にも見てもらったことを記録するチェック欄を設けることで、道徳ノートが、児童を中心に学校と家庭を結ぶ「かけ橋」となるよう工夫しました。

2 対照表

本教科書本冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	本冊 該当箇所	別冊 該当箇所	配当 時数
①	目覚まし時計	節度, 節制	p.4~6	p.3	1
②	言葉のまほう	礼儀	p.7~9	p.9	1
③	みんな, 待っているよ	よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.10~13	p.17	1
④	おたまじゃくしの世話	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.14~17	p.1	1
⑤	ごめんね, オオキンケイギク	自然愛護	p.18~21	p.22 p.20	1
⑥	もどらない本	規則の尊重	p.22~24	p.13	1
⑦	お母さん泣かないで	生命の尊さ	p.25~27	p.21	1
⑧	文字を書くよるこび	希望と勇気, 努力と強い意志	p.28~31	p.5 p.6	1
⑨	心と心のあく手	親切, 思いやり	p.32~34	p.7	1
⑨	思いやりのむずかしさ		p.35		
⑩	真心を伝えるコミュニケーション	親切, 思いやり	p.36~37	p.7	1
⑪	「正直」五十円分	正直, 誠実	p.38~42	p.2	1
⑫	雨のバスていりゅう所で	規則の尊重	p.43~45	p.13	1
⑬	ゆめはみるものではなく, かなえるもの —澤 穂希—	希望と勇気, 努力と強い意志	p.46~49	p.5 p.6	1
⑭	少しだけなら	節度, 節制	p.50~52	p.3	1
⑮	同じ仲間だから	友情, 信頼	p.53~57	p.10	1
⑯	わり切れない気持ち	勤労, 公共の精神	p.58~59	p.15	1
⑰	朝がくると	感謝	p.60~61	p.8	1
⑱	ヒキガエルとロバ	生命の尊さ	p.62~64	p.21	1
⑲	一まいの写真から	親切, 思いやり	p.65~67	p.7	1
⑳	李さんのおひさまスープ	国際理解, 国際親善	p.68~71	p.19	1
㉑	絵葉書と切手	友情, 信頼	p.72~75	p.10	1
㉒	げんたの消しごむ	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.76~79	p.1	1
㉓	正しいことは勇気をもって	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.80~81	p.1	1
㉔	妙見山のちかい —岩崎 弥太郎—	家族愛, 家庭生活の充実	p.82~84	p.16	1
㉕	時計係	規則の尊重	p.85~87	p.13	1
㉖	わたしにはゆめがある —マーティン・ルーサー・キング・ジュニア—	公正, 公平, 社会正義	p.88~91	p.14	1
㉗	フィンガーボール	礼儀	p.92~93	p.9	1
㉘	人間愛の金メダル	生命の尊さ	p.94~96	p.21	1
㉙	ぼくの生まれた日	家族愛, 家庭生活の充実	p.97~101	p.16	1
㉚	新次のしょうぎ	正直, 誠実	p.102~105	p.2	1
㉛	すれちがい	相互理解, 寛容	p.106~109	p.11	1
㉜	ふるさとにとどけ, 希望の舞 —羽生 結弦—	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.110~113	p.18 p.12	1
㉝	花さき山	感動, 畏敬の念	p.114~118	p.23	1
㉞	明の長所	個性の伸長	p.119~121	p.4 p.6	1
㉟	日本の伝とう文化	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.122~125	p.18 p.12	1
特集	きけんから自分自身を守るために	生命の尊さ／善悪の判断, 自律, 自由と責任／ 節度, 節制	p.126~127		下記
特集	だれもが住みよい社会に	公正, 公平, 社会正義／勤労, 公共の精神	p.128~129		下記
特集	考えよう インターネットの世界	善悪の判断, 自律, 自由と責任／礼儀／ 節度, 節制	p.130~131		下記
配當時数合計					35

・「きけんから自分自身を守るために」「だれもが住みよい社会に」「考えよう インターネットの世界」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配當時数に含めています。

・①～⑨については、最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

本教科書別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		別冊 該当箇所	本冊該当箇所 (教材番号)	配当 時数
自分自身に関すること	正しいことは自信をもって	主として自分自身に 関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.1	④ ②② ②③	3
	正直に明るい心で		正直, 誠実	p.2	①① ③①	2
	よく考えて節度ある生活を		節度, 節制	p.3	① ①④	2
	自分のよいところをのばして		個性の伸長	p.4	③④	1
	やろうと決めたことは最後まで		希望と勇気, 努力と強い意志	p.5	⑧ ①③	2
人との関わりに関すること	相手を思いやり親切に	主として人との関わりに 関すること	親切, 思いやり	p.7	⑨ ①① ①⑨	3
	そんけいと感じの気持ちをもって		感謝	p.8	①⑦	1
	だれに対しても真心をもって		礼儀	p.9	② ②⑦	2
	友達とたがいに理解し合って		友情, 信頼	p.10	①⑤ ②①	2
	相手を理解し, ことなる意見も大切に		相互理解, 寛容	p.11	③①	1
集団や社会との関わりに関すること	社会のきまりを守って	主として集団や社会との 関わりに関すること	規則の尊重	p.13	⑥ ①② ②⑤	3
	分けへだてをせず, 同じように		公正, 公平, 社会正義	p.14	②⑥	1
	働くことの大切さを知って		勤労, 公共の精神	p.15	①⑥	1
	家族みんなで協力し合って		家族愛, 家庭生活の充実	p.16	②④ ②⑨	2
	協力し合って楽しい学校, 学級を		よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.17	③	1
	国やきょう土を愛する心をもって		伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.18	③② ③⑤	2
	他国の人々や文化に親しんで		国際理解, 国際親善	p.19	②①	1
生命や自然などの 関わりに関すること	命あるものを大切に	主として生命や 自然、崇高なもの の関わりに関する こと	生命の尊さ	p.21	⑦ ①⑧ ②⑧	3
	自然や動植物を大切に		自然愛護	p.22	⑤	1
	美しいものに感動して		感動, 畏敬の念	p.23	③③	1
特集	明るい心で毎日をすごそう	正直, 誠実／個性の伸長／ 希望と勇気, 努力と強い意志	p.6		下記	
	きょう土のキャラクターを作ろう	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.12		下記	
	日本の自然をこわす生き物たち	自然愛護	p.20		下記	
配当時数合計						35

「明るい心で毎日をすごそう」「きょう土のキャラクターを作ろう」「日本の自然をこわす生き物たち」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-49	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 410 道徳 411	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4 自分を見つめ、考える 道徳ノート4		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				